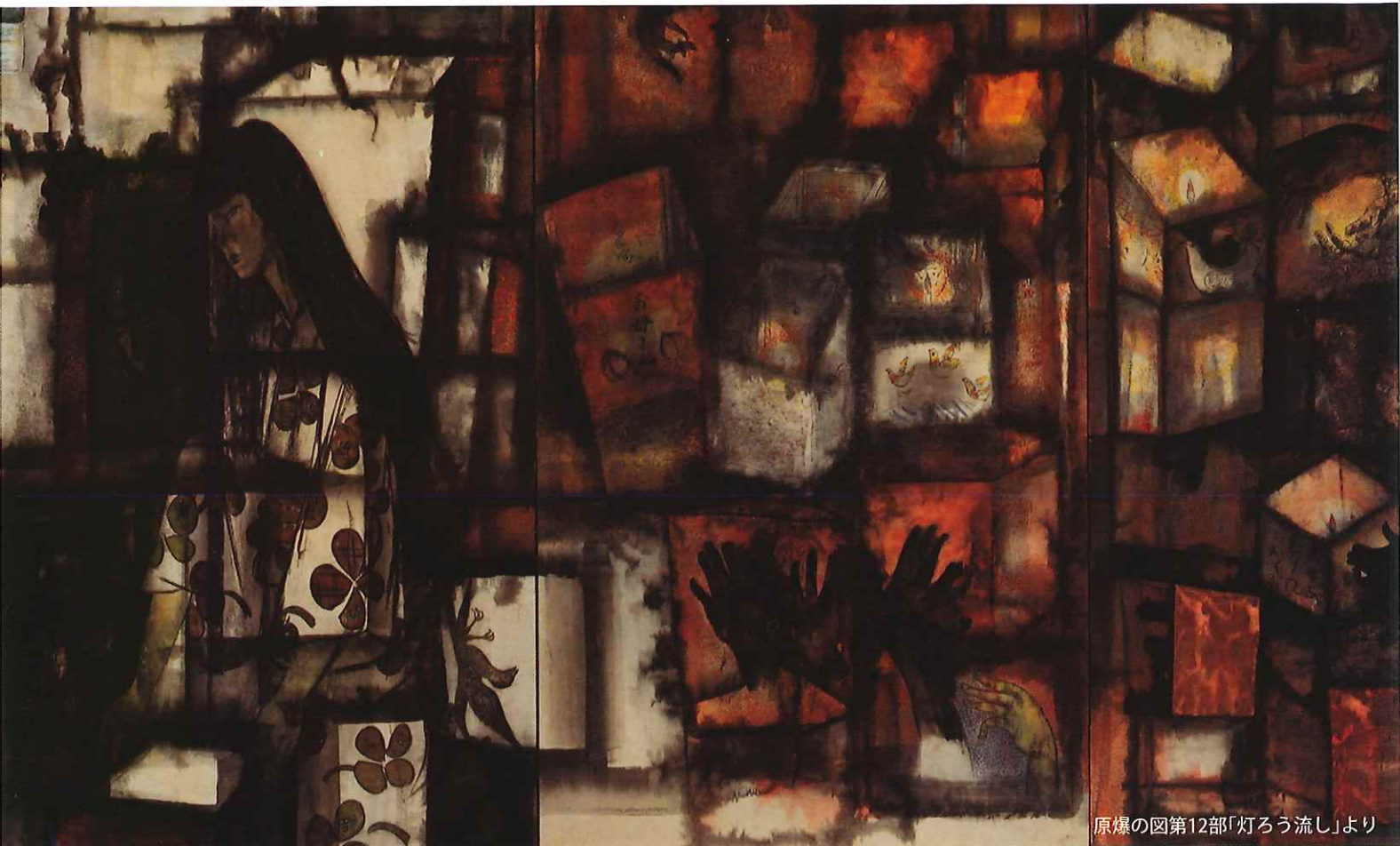


第19回

原爆の図展

後援 文京区教育委員会 文京区原爆被害者友の会(文友会)



原爆の図第12部「灯ろう流し」より

2023年8.6日~9水

10:00~18:00

8月6日は正午より
8月9日は午後5時迄

文京シビックセンター 1階 展示室2

主催「原爆の図」を見る会・文京

入場無料

都営地下鉄 春日駅 東京メトロ 後楽園駅

文京区千駄木 2-34-2-202 ☎ 080-9513-0357

特別企画 児童生徒ハガキ平和アート・メッセージ展
文京区非核平和都市宣言 40周年記念

来場された方々の感想文(2022年第18回原爆の図展)より

▶なぜ日本に…なぜ広島に落とされたのか…この地獄のような描写が現実にあったと思うと心が苦しくなりした…。▶もう二度とこんなことがおこりませんように…。▶子供と一緒に見て、10才の子の姿には胸が締め付けられる気持ちになった。親子で考えるきっかけにしたい。▶いろいろな命が失われた事、戦争はいけないということを改めて知らされました。▶戦争はこれから1度もやっちゃいけないと思った。▶戦争に力をかさないで心にぎざむ力になりました。若者たちに続く影響力大です。希望の種がまかれましたね。今後の活動を楽しみにしています。▶戦争は絶対にやってはいけない事。原爆(核兵器)はもっての他だと思えます。日本から、私たちからもっと発信すべきです。▶平和憲法をもつ日本の積極的外交の発揮が望まれます。▶平和な世界が作られるよう祈ります。

第19回 原爆回展

展示期間 2023年8月6日(日)～8月9日(水) 文京シビックセンター 1階 展示室2
展示内容 原爆の図 「火」「少年少女」(原寸大レプリカ)
特別企画 児童生徒ハガキ平和アート・メッセージ展(文京区非核平和都市宣言40周年記念)
被爆者の証言映像、「ヒロシマ・ナガサキ 原爆と人間」展示、他関連図書

1945年8月6日と8月9日、広島と長崎に投下された二発の原子爆弾は15万人の死傷者を出し、二つの都市を全滅させました。原爆投下後の広島を目の当たりにした丸木位里、丸木俊夫妻はアメリカ占領下で殆ど原爆の報道が許されず、写真も数枚しか残されていない状況のなかで、自分たちの見た地獄のような光景を絵にして世界に訴えようと決意しました。

第二部 「火」

ピカッ。青白く強い光。爆発、圧迫感、熱風。— 天にも地にも人類がまだかつて味わったことのない衝撃。次の瞬間に火がついた。めらめらと燃えあがり、広漠たる廃墟の静寂を破って、ごうごうと燃えていったのであります。うつぶせて家の下敷きになったまま失心した人、気がついて抜け出ようとして、紅蓮の炎につつまれていった人。



第五部 「少年少女」

流れに沿い、頭を並べて水をしたが、そうして累々とつらなり死んでおりました。末期の水は、川辺までたどりついてもまだずっと下の方でしたから、水ものまらずに息を引きとったのです。おとなたちの建物疎開の手伝いに子どもたちが動員されたのです。一クラス全滅、というクラスがたくさんあります。かわり果てた姿で抱きあっている姉と妹。からだにかすり傷一つないのに死んでいった少女もあります。

